

続ボラッチョ・ボニートのメキシコ便り(No.51)

「国を知ってもらおうということ」(4)

・・・ライオンの尻尾よりはむしろネズミの頭・・・

国を知るといふことの根底には、自分の祖国を愛するといふ気持ちも深くかかわってくると思う。このような観点から見た場合、「**Como México no hay dos**」(コモ メヒコ ノ アイ ドスと発音し、直訳は、「メキシコのような国は二つとない」といふ、メキシコ人の好きな言葉がある。

「メキシコやメキシコ人の誇り」といふ点からみると、直訳から受けるニュアンスは、「メキシコは二つとない、素晴らしい国だ」といふ、自分の国に誇りを持って語る意味だと思ふし、多くのメキシコ人は本質的にはそう思っているのだと思ふ。ボラッチョ氏の解釈はちょっと幅が広い。

この言葉には、「現今のようなメキシコでも、良くも悪くも、自分の国が好きだ」といふ自分の国をちょっぴり憂いながらも、それでも国を愛する気持ちも込めている人も居るのではないかと思っている。

この解釈を、配属先の隣に座っている才媛嬢に問いかけたところ、「貴方の説にも納得できるわね！」と納得(?)してくれた。

どこの国の人でも、自分の祖国を大切に思ふ気持は同じだと思ふ。そんな視点から自分の祖国ではないが、一宿一飯の恩義を感じたメキシコについて、「国を知ってもらおう」最終回のシリーズとして、今回は特に人的面をピックアップしてみた。

ちょっと休憩:

二十世紀初期のメキシコ革命の渦中、戦火を逃れ、国境を越えてくるメキシコ人を、武器等を隠し持っていないか、米国の監視人が厳重にチェックしていた。

そこに、大きなショールをまとった一人のメキシコ女性が渡ってきた。おなかのあたりが丸くふくらんでいる。

「おい、こら、待て！」。税関吏が居丈高にどなった。

「ショールの下に何をかくしてるんだ」

女性は、落ち着きはらって言った。

「セニョール、私にも分かりませんわ。女の子かもしれないし、男の子かもしれませんわ」——(^ ω ^)

12. 国の豊かさといふことについて

- ① **メキシコ市都市圏地域の推定人口**・・・メキシコは(23,610,441人)で東京圏(37,730,064人)に次いで世界第2位である、ちなみに第3位は、ニューヨーク圏(23,313,036人)(Gazetteer, 2010年1月現在)
- ② **仕事のストレスの国際比較**(OECD調査、以下同じ、2005年)・・・ストレスの多い仕事かどうかについて? メキシコ60.1%で、調査対象国21か国中21位、(日本は72.0%で16位) ぐたくたになって帰宅するか?はメキシコ80.2%で18位(日本は73.6%で21位)・・・日本もメキシコも順位は下位だが、仕事は楽なのか、頑張り屋なのか、はたまた楽天的なのか、どれだろう?
- ③ **平均睡眠時間について**(2006年)・・・メキシコは8時間21分で調査対象18か国中12位、(日本は7時間50分で17位)・・・両国とも比較的順位が低いのは、どちらの国も枕を高くして眠れない事情があるのだろうか?・・・メキシコは夜遅くまでのパーティ好きが、統計に影響している?(まさか)
- ④ **10万人あたりの自殺者数**(2009年)・・・メキシコ4.0人(男6.8、女1.3)で31か国中30位、日本24.4人(男35.8、女13.7)で2位・・・「また明日があるさ」と、思っ過ぎてメキシコらしい順位に反して、他人に責任を押し付ける、「自己責任論」を唱え始められた頃から、高水準を保っている日本、原因は色々あるだろうが、日本の2位は悲しい現実である!

13. 肥満率世界一の国の食事について

- ① エンゲル係数(OECD調査、以下同じ 2006年) …… メキシコは27.0%で30か国中10位、日本は23.1%で16位…… 個人所得が相対的に低いから、メキシコも日本も高いのか、それともグルメ？
- ② 一日当たり供給カロリー(2003年～2005年平均、ただしFAO調査) …… メキシコ 3268kカロリーで調査対象173か国中29位 (日本は2754kカロリーで85位) ……肥満率1位にしては順位が低い？
- ③ 成人一人当たりの純アルコール消費量(2000年～2001年) ……メキシコ 4.6リットルで31か国中30位、(日本7.4リットルで26位) ……彼らの呑みっぷりからすれば、不思議な統計だ。帰りに同僚と一杯と言う習慣が余り無いので普段は飲まず、飲むときは徹底的に飲むのだろうか。 ……ボラッチョ氏はその時は常に負けてしまう。
- ④ 一日あたりの平均食事時間 (2006年) ……メキシコは66分で調査対象国17か国中17位、(日本は117分で3位) …… 彼らの昼の食事時間の長さからすればこれも不思議な統計だが、②とあわせて考えると、短時間で高カロリー食を食べているということか。日本で昼のラーメン、立ち食い蕎麦族、早寝、早食いだっただボラッチョ氏から見ると、日本の3位は考えられないが、優雅な人も多いのだろう。

14. 勉強はまだまだ頑張れるぞ(15歳児童の学力国際比較)(OECD、2006年、57カ国調査)

- ① 科学的リテラシー …… メキシコ 600 点満点中、410 点で49位 (日本 531 点で6位)
- ② 読解力 …… メキシコ 410 点で43位、(日本 498 点で15位)
- ③ 数学的リテラシー …… メキシコ 406 点で48位、(日本 523 点で10位)

15 えい、面倒だ！まとめて持って行け

メキシコは世界有数の天然資源国でもあり、世界一の広さ(東京 23 区の規模)の天然塩田を有している。世界トップクラスの銀の産地で、ペルーと生産世界一を争う。また、石油(世界 6 位、中南米諸国中最大)、モリブデン等の産地としても有名である。

コーヒーの生産量では世界で 4 位、栽培面積では 5 位、生産性では 9 位となっており、有機コーヒーの輸出では世界 1 位である。とうもろこしは世界第 4 位の生産量である。また、アボカドは原産国で世界第 1 位の生産量である。(FAO、2008 年)

主な輸出農産品であるビール、トマト、香辛料の輸出額は、それぞれ EU に次いで世界第 2 位(FAO、2006 年)。畜産物では、牛肉生産量は近年 150～160 万トン台で推移しており、世界第 7 位の生産量である。これを見ると、メキシコ経済は一次産品だけから成り立っているようにも見えるが、メキシコから米国への輸出は、「工業製品」がその80%以上を占めている。多くの自動車メーカーが進出している当国は、自動車は最大の輸出品目で、工業の方も発展しつつあり、米大手証券のゴールドマン・サックスの予測では、2050年には米国、中国、インド、ブラジルに次ぐ世界第五位の経済大国がメキシコだという。



「国を知ってもらおう」というコンセプトのもとで、メキシコ滞在の総集編的に、旅のガイドブックには載らない、しかも政治や経済面を除いた、メキシコの色々な面をアーカイブスから引き出してみたが、如何でしたか。ボラッチョ氏自身も改めてメキシコと言う、可能性を秘めた国を再確認した次第である。

「ISOに基づく品質管理体制の構築」という、今回のボランティア活動によるミッションも、もう少しで任期も終わりになる。これからのメキシコ経済活動の発展に、少しでも寄与できることを心に念じながら、大学等で講義活動を実施してきたが、成果が上がったかどうかを気にしつつ、今日もまたまたテキーラの杯を一人静かにかさねたのであった。(こちらの方でもメキシコ経済に目下貢献中) (2010年10月20日)